

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500



●2014-2015年度RIテーマ
LIGHT up ROTARY

ゲイリーC.K.ホアンRI会長

●第2510地区重点目標
RIテーマ「ロータリーに輝きを」
を推進しよう

**55年の歴史の蓄積の上に立って
ロータリーにさらなる輝きを**

●再来週 2月13日金のプログラム

◎55周年記念例会(夫人同伴夜間例会)

点鐘 17:00～ 会場 グランドパーク小樽5階

●来週 2月6日金のプログラム

◎志比川ガバナー補佐公式訪問

◎「小樽北運河の魅力と潜在力」スピーカー:斎藤 仁氏
(浅草橋オールディーズナイト実行委員会委員長・小樽南RC)

●今週 1月30日金のプログラム

◎「ロータリーの情報発信力」

スピーカー:杉江俊太郎氏
(RI第2510地区広報委員会委員長・小樽RC)

28

通巻 第2684号
2015年1月30日発行

1960年創立
昭和35年2月5日

●第27回例会報告 1月23日金 「干支会員」Part-2 永原会員・濱本会員

■ロータリーソング ■ 「それこそロータリー」

■ゲスト・ビジターの紹介 ■

関 光司氏 (小樽RC)

■会長報告 ■ 加藤会長

・今の時期寒暖の差が激しく体調管理には充分お気おつけ下さい。

・米山功労クラブ感謝状が届いております。小樽南RCは表彰回数第14回米山功労クラブとなります。

※「米山功労クラブ」は個人・法人・クラブ扱い全ての特別寄付金が対象となり、特別寄付金累計額が100万円超える毎に表彰されます。

■幹事報告 ■ 工藤幹事

・2月28日(土)に開催されますロータリー創立記念3クラブ合同例会につきましては来週までには当クラブ会員にはお知らせいたします。また3月29日(日)に蘭越



にて開催されます「IM」の詳細につきましては来月にお知らせいたします。

・例会変更のお知らせ

●小樽RC 2月24日(火)例会は休会

●余市RC 2月25日(水)例会 夜間例会に変更

■出席委員会 ■

・平成27年1月23日

会員総数 76名 本日の欠席者 13名
浅村、石上、小笠原、岡崎、角野、斎田、佐藤(公)、佐藤(友)、山田(正)、高木(成)、盛、村越、富永

・平成27年1月9日

会員総数 74名 出席摘要免除者 16名
病欠者数 0名 ホーム欠席者数 12名
メーキャップ 1名 純欠席者数 11名
確定出席率 84.72%

■メーキャップ ■

1/9 新倉(小樽RC) /16 大淵(小樽RC)

■例会プログラム

干支会員卓話

永原 会員

濱本 会員



Part-2

本日、年女ということで卓話をさせていただきますが、今年私は節目の年女となります。STVは生まれ月いっばいで定年退職とりますが、私も来月2月をもちまして定年となります。ただ、定年を迎えましても本人の希望があれば1年更新で65歳まで待遇は大幅に変わりますが、働くことが



永原 会員

でき、私も昨年今の立場でいられるなら、つまり小樽支局にそのまま勤務できるなら、もう少し働きたいと希望を出したところ、今日現在までに駄目だと言う返事がありませんので、恐らく少なくとも後1年は皆様とご一緒させていただけると思います。よろしく願いいたします。本日、このような卓話の機会をいただき、また私自身節目ということもありますのでこの場をお借りして、私がSTVでどのような仕事をしてきたか、また放送局を取り巻く環境がどのように変化してきたかを皆様にお伝えできればと思っています。

私は昭和52年にSTVに入社いたしました。実は私東京の短大に通っていきまして、本当は出版社への就職を希望していましたが、今では考えられないことですが、女子の採用条件として自宅通勤ということがあり断念、札幌へ戻ってくるにしてもほとんど東京の短大へは募集がなく、どうしようかと思っていた矢先に当時の採用担当者の気まぐれとしか思えません、STVからの募集があり、STVに入社した次第です。STVは一般職については入社から半年間は色々なセクションで研修し、10月に正式配属となる形をとっていますが、私がまず研修の場として配属されたのがラジオ局で、ラジオのCMを制作するセクションでした。10年ほど前にラジオは独立して別会社となっていますが、その当時はまだ札幌テレビ放送の中のラジオ部門という形でした。ちなみにSTVは昭和34年4月にテレビが開局、遅れて昭和37年の12月にラジオが開局となりますが、全国のテレビ・ラジオの兼営局では唯一の形となっています。先輩局のHBCもまずはラジオからスタート、その後テレビが開局となっています。(中略)ラジオ局時代で一番印象に残っているのが昭和60年に悲願の聴取率首位となったことです。それまではテレビの視聴率もラジオの聴取率も先輩局のHBCに歯が立たない時代が続いていましたが、ラジオがまず北海道No.1ラジオ局となりその記録は1昨年まで実に28年間続きました。

テレビもその間色々な試行錯誤を繰り返してきましたが、「2時ですよ」などはその時間帯でHBCの「パック2」に勝つことができましたが、全体ではなかなかHBCに勝つことが出来ませんでした。転機となったのが早朝の「朝6生ワイド」に続き、平成3年に「どさんこワイド120」という夕方生ワイド番組をスタートさせたことが一番です。(中略)私自身のことに話を戻しますが、入社以来20年間ラジオ局勤務という事で漠然と退職するまでずっとラジオ局にいるだろうと思っていた矢先に私自身の転機がやってきました。1997年に寝耳に水といった感じで東京支社ラジオ部勤務を言い渡され、4年間の東京支社勤務を経験させていただきました。ここで入社以来初めてテレビの方の社員と交流する事が出来、楽しい4年間を過ごすことができました。(中略)私自身は2004年平成16年にラジオに移動となり、STVラジオの独立に立ち会ったり、その後これも第3の収入源とされた携帯サイトの運営やDVD制作、雪まつりの担当などの事業、そして5年前に小樽支局長として小樽に赴任、現在に至っています。STVにいた前半はラジオだけの世界で過ごし、後半は女子社員では多分一番色々な職場を経験させていただき、それに伴いここにいらっしゃる皆様を含め沢山の方との交流、人脈を作ることができました。これが一番の財産だと思っています。先ほども申し上げ

ましたが、いましばらく宜しくお願いいたします。
※誌面の都合上一部割愛させていただきました お許し下さい。

●「還暦に思う事」

今年3回目の成人式を迎えた濱本です。つまり6回目の干支、未年を迎えました。今日は年男卓話の時間を頂きましたので、自分の60年を振り返ってみたいと思います。初めに自分が皆さんの前でお話するのは今回で3回目です。最初はゲストとしてPTAの組織、活動についてお話させていただきました。

その時はまさか自分がこの南ロータリークラブの会員になるとは全然考えてもいませんでした。2回目は新会員卓話でリサイクルのお話をさせていただきました。そして今日が3回目です。3回目の成人式、三回目の卓話、何だか不思議な感じがします。1回目の成人式、20歳までの間に今でも記憶に残っていることの一つに、小学校3年生か4年生の時に担任の先生から同級生みんなの前で、濱本は本をたくさん読んでいると褒められた事です。当時は今よりも素直だったので、褒められた事が嬉しくて、よりたくさん本を読んだものでした。今にして思えば褒める事が人を育てる原動力の一つなんだと実感しています。2回目の成人式、40歳までの間では仕事で、青年会議所で、そしてPTAを通じて社会の色々な人に出会いました。その中で印象に残っているのは、青年会議所時代に講演をお聞きした羽山泰弘さんから、私の誕生日に頂いた手紙の最後に書いてあった句です。それは「良き友は 心の花の 添え木かな」でした。自分なりの理解は私自身と言う花を咲かせるために添え木になってくれる良き友がいる、自分も良き友のために、添え木になりなさい。他者のために生きなさいと教えてくれているのだと思っています。この手紙を頂いたのもあって今から20年前、阪神・淡路大震災の時に1週間現地にボランティアに行ってきました。僅か1週間のボランティアでしたが、今思えば行って良かったと思います。41歳から今日まで、選挙の事、ロータリーに入会した事、町内会の事など、色々な事がありました。今、改めて振り返ると、本当にたくさんの人にご縁を、そしてご恩を頂き、育んで頂いてきたと感じています。フランスの哲学者でボーボワールが「第2の性」という著作の中で「人は女に生まれるのではなく、女になる」と書いています。自分的には「人は生物学的存在として生まれ、社会的存在としての人になる」と考えています。つまりたくさんのご縁を頂いて、初めて社会的存在としての人へと成長させてもらえると思います。還暦を迎えたこれからの自分の人生は頂いたご縁の恩返しをする時間だと思っています。せめて人生のバランスシートを均衡させるために、奉仕の精神を忘れずに歩んでいきたいと思っています。これからも宜しくお願いします。



濱本 会員